



マナウス日本人学校 学校便り

マナウス

平成 30 年 (2018) 年 7 月 13 日 第 4 号

学校教育目標

- ・自ら進んで学びとる子ども (知)
- ・礼儀正しく思いやりのある子ども (徳)
- ・心と体を鍛える子ども (体)

1 学期の教育活動へのご協力に感謝申し上げます！

マナウス日本人学校長 中 川 勝 美

明日から子供たちが楽しみにしている夏休みが始まります。保護者の皆様をはじめ、日本国総領事館や日本文化振興会及び企業の方々、そして日系社会やブラジルの関係者の皆様のご理解とご協力により、子供たちが無事に夏休みを迎えられることに感謝申し上げます。

さて、1 学期の生活を振り返ってみますと、大きな行事では、運動会や遠足がありました。学校行事は子供集団の質を高める絶好の機会です。子供たちは、学級という集団を中心にして生活をしています。

学校における生活が楽しく充実したものになるためには、それぞれの集団の質を高め、生き生きと活動できる場となるよう努めることが不可欠です。運動会や遠足などの学校行事は集団の質を高める大切な三つの力を持っています。

一つは、仲間意識を育てる力です。運動会のボイダンスや応援合戦・団体競技の練習を一つ例にしても、仲間として助け合い、協力し合う気持ちが無くては前に進むことが出来ません。そのような気持ちを自然に生み出し、豊かな人間性を育む力を学校行事は持っています。

二つ目は、集団のために、あるいは仲間に迷惑を掛けないように気を配る心を培う力です。共通の目標を持って、一緒に何かを創りあげる過程で養われます。望ましい集団として育つほどに、所属する集団や集団の一人ひとりを、よりよく成長させようとする校風 (暗黙のルール) が醸成されていくものです。社会生活を営むにあたり、良い仕事を成し遂げるために必要な心構えとも考えられます。

三つ目は、集団の一人ひとりが、役割をしっかりと分担し、責任をもって成し遂げる力の育成です。団体競技で結果を出そうとする時は、自分の分担した役割について、主体的に取り組み努力するとともに、他の人の役割についてはフォロワーとして協力していくことが必要です。一つの取組が協力して成し遂げられるプロセスで自覚され身につく力です。いわゆる「ONE FOR ALL ALL FOR ONE」の精神です。

学校行事は集団の質を高めます。質の高い集団は一人ひとりを鍛えます。また、集団に対して自分が価値ある存在であることを認識したときに、個人の資質も集団もさらに向上、発展していくものです。

二学期は、アマゾン体験学習や学習発表会など大きな行事があり、「責任ある分業と思いやりのある協業」の意識を育む実践の場として、飛躍のチャンスです。

二学期も一人ひとりの資質や集団の質を高めるために職員一丸となって教育活動に取り組んでいきたいと考えています。

さて、学校から離れるこの期間、学習や生活のめあてをもち、普段できないことを自分の計画にそって行い、ご家族と一緒に有意義に過ごしてほしいと思います。また、学校でも夏休み中の過ごし方について十分に指導しましたが、ご家庭でも交通事故や水の事故・事件等にあわないようにしっかり話し合ってください。

楽しい夏休みが過ごせることを願っています。1 学期のご支援とご協力に感謝申し上げます。

寄贈ありがとうございます。
ざいます。

OF 様からバナナの苗を
いただきました。

OM 様から図書と DVD を
いただきました。

8・9 月行事予定